

様式第9号

先進医療を実施可能とする保険医療機関の要件として考えられるもの

<p>先進医療名及び適応症： 標準的治療に抵抗性または標準的治療が確立されていない腹部・骨盤部腫瘍に対する経皮的凍結治療 組織学的あるいは臨床経過と画像所見より診断された、腹部・骨盤部の最大径1cm以上かつ4cm以下の、腎腫瘍を除く腫瘍性病変</p>	
<b>I. 実施責任医師の要件</b>	
診療科	<input type="checkbox"/> ( 放射線科 ) ・不要
資格	<input type="checkbox"/> ( 日本IVR学会専門医 ) ・不要
当該診療科の経験年数	<input type="checkbox"/> ( 10 ) 年以上 ・不要
当該技術の経験年数	要 ( ) 年以上 ・ <input type="checkbox"/> 不要
当該技術の経験症例数 注1)	実施者〔術者〕として ( ) 例以上 ・ <input type="checkbox"/> 不要 [それに加え、助手又は術者として ( ) 例以上 ・ <input type="checkbox"/> 不要]
その他 (上記以外の要件)	類似技術として、腎腫瘍の凍結療法の経験年数1年以上、かつ経験症例数3例以上
<b>II. 医療機関の要件</b>	
診療科	<input type="checkbox"/> ( 放射線科 ) ・不要
実施診療科の医師数 注2)	<input type="checkbox"/> ・不要 具体的内容：常勤医師2名以上
他診療科の医師数 注2)	<input type="checkbox"/> ・不要 具体的内容：麻酔専門医1名以上
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	<input type="checkbox"/> ( 診療放射線技師 ) ・不要
病床数	<input type="checkbox"/> ( 100床以上 ) ・不要
看護配置	<input type="checkbox"/> ( 10対1看護以上 ) ・不要
当直体制	<input type="checkbox"/> ( ) ・不要
緊急手術の実施体制	<input type="checkbox"/> ・不要
院内検査 (24時間実施体制)	<input type="checkbox"/> ・不要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	要 ・ <input type="checkbox"/> 不要 連携の具体的内容：
医療機器の保守管理体制	<input type="checkbox"/> ・不要
倫理審査委員会による審査体制	<input type="checkbox"/> ・不要 審査開催の条件：少なくとも年2回
医療安全管理委員会の設置	<input type="checkbox"/> ・不要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要 ( 症例以上 ) ・ <input type="checkbox"/> 不要
その他 (上記以外の要件、例；遺伝カウンセリングの実施体制が必要 等)	
<b>III. その他の要件</b>	
頻回の実績報告	要 ( 月間又は 症例までは、毎月報告 ) ・ <input type="checkbox"/> 不要
その他 (上記以外の要件)	

注1) 当該技術の経験症例数について、実施者〔術者〕としての経験症例を求める場合には、「実施者〔術者〕として ( ) 例以上 ・ 不要」の欄を記載すること。

注2) 医師の資格 (学会専門医等)、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の△科医師が□名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。